

正誤表

頁	行	誤	正
35	表 3	1902 四肢[上から]	6,762 16.7 108.5 3,645 9.0 163.2
	表 3	1902 その他[上から]	210 0.5 3.4 36 0.1 1.6
	表 3	1902 総計[上から]	
	後 6	23,394 57.4 1,000.0 62,345 154.0 1,000.0	62,345 154.0 1,000.0 22,335 55.2 1,000.0
44	後 6	大日本帝国陸軍	大日本帝国陸海軍
113	表 12 中支	1,639 人	1,642 人
	表 12 国内 1937・5(0.03)		5(0.3)
123	後 4・後 3	小学校尋常科	尋常小学校
	後 4	高等科	高等小学校
223	表 33 「戦時神経症」患者数(人) 1938	82	182
	表 33 「戦時神経症」患者数(人) 1940	262	261
	表 33 「戦時神経症」患者数(人) 1943	305	306
229	表 39 「百分率部分/上から」	(30.3) (10.2) (8.9) (4.8) (1.2)	(52.7) (17.7) (15.5) (8.3) (2.1)
		(1.1) (0.8) (0.3)	(1.9) (1.3) (0.5)
241	9	一九一五年生れ	一九二五年生れ
266	後 9	前記部隊に	[削除]
272	後 3	諏訪敬三郎(当時陸軍軍医中佐)	諏訪敬三郎(当時陸軍軍医大佐)
284	後 1	第一精神病棟	第一精神病棟
	後 1	第二精神病棟	第二精神病棟
285	表 43 出典	調査」の	調査」の
287	表 45 妄想・妄覚計 30(7)		26(7)
	表 45 出典	一部改変。	数字は原文のまま。
310	表 49 番号 14・21・24 病名	進行麻痺(「麻痺性痴呆症/麻痺性痴呆)	進行麻痺
311	11	および……場合	[削除]
314	1	(決定は一九四五年三月六日)	(決定は一九四〇年三月六日)
	後 4	③同年四月八日	③一九四三年四月八日
332	10	在所者一五五人のうち、	[削除]
333	表 51	頭部戦傷障害	頭部戦傷精神障害
335	表 52 療養患者数:入院外・精神 1980	513(7.1)	513(3.9)
	表 52 療養患者数:入院・精神 1980	540(7.5)	540(4.1)
371	表 52 注	精神・神経障害の略。	精神・神経障害及び中枢神経機能障害の略。
	8	使われた、	使われた。

*なお、小社では第二版第一刷の刊行(二〇〇七年四月一〇日)後、本書の多くを依拠した国府台陸軍病院「病床日誌」のうち知的障害と診断された四八六件を、抄録ながら復刻いたしました。清水寛編『資料集成戦争と障害者』第一期・全7冊のうち第1・2冊(編集復刻版 二〇〇七年二・四月 不二出版刊)がそれにあたります。本書の第三章・第四章では知的障害のある症例を四八四件としています。それは初出の論文発表時でのデータに従ったこととお断りしなくてはなりません。また、第五章にかかわる、戦争神経症のうち「臓器病」と診断された八三二件についても同じく編集復刻版が刊行されています(『資料集成戦争と障害者』第5〜7冊 二〇〇七年一〇月〜〇八年二月 不二出版刊)。